

星稜 サ・エ・ラ

seiryô çà et là 2009 No. 15

inaokigakuen news letter



特集

シリーズ「星稜の人間教育 徳・知・体」

第2回『体』

スポーツを通じて目指す 「人間教育」。

山下智茂 稲置学園野球部総監督

監督座談会[サッカー部・野球部・陸上部・バレーボール部]

星稜教職員バトンメッセージ

星稜アレコレ

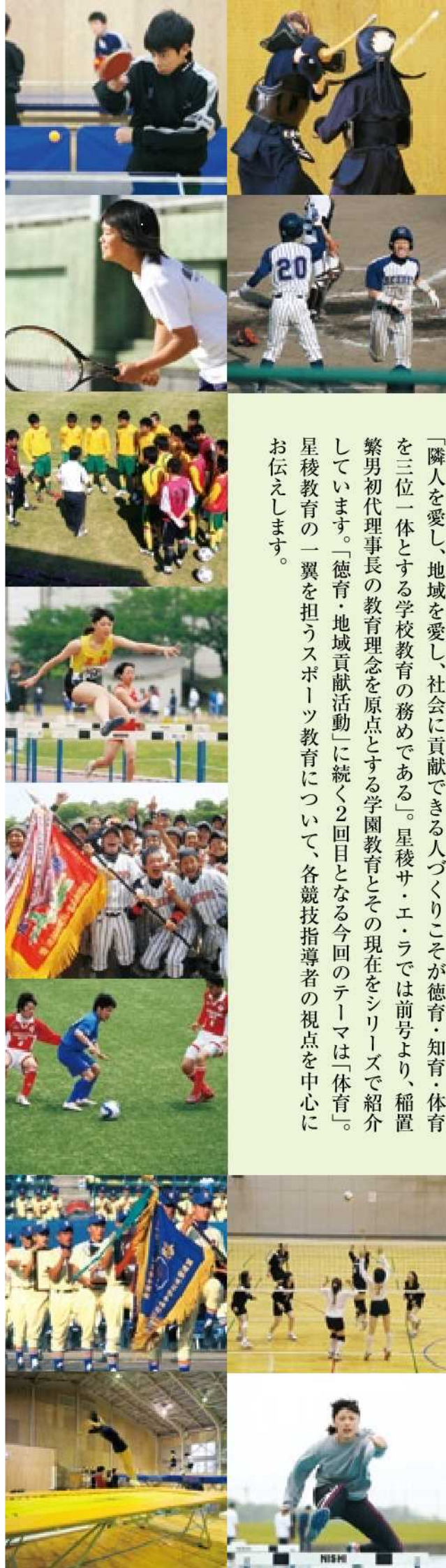
星稜Information

星稜女子短期大学学園祭2009
地域と交わる星短祭、
開催!

第2回
『体』

スポーツを通じて目指す「人間教育」。

「隣人を愛し、地域を愛し、社会に貢献できる人づくりこそが徳育・知育・体育を三位一体とする学校教育の務めである」。星稜サ・エ・ラでは前号より、稲置繁男初代理事長の教育理念を原点とする学園教育とその現在をシリーズで紹介しています。「徳育・地域貢献活動」に続く2回目となる今回のテーマは「体育」。星稜教育の一翼を担うスポーツ教育について、各競技指導者の視点を中心に伝えします。



心技体の充実した誠実な人間を育て、社会に送り出す。
さまざまなスポーツや勉強、社会貢献活動のすべては
稲置学園が目指すひとつの目的にあります。

スポーツを指導するうえで重要なのは、競技を上達させること、好成績を残すことだけではないということです。我々教育者としての役割は、一流のプレイヤー以上に「流の人間」を育てることにあります。

私は40年近く高校野球部監督を務めてきましたが、生徒たちには野球以外の話をする機会を多くつくつてきました。そこで話す内容は「君たちは人間としてどうあるべきか」というテーマに集約されるでしょう。親や学校、さらには道具に至るまでの感謝の気持ちや、出会った人や本から多くを学ぼうとする謙虚な姿勢は、直接的には競技の指導ではありません。しかし私は、人間性が育つにした

がって競技もまた上達していくものだと思っています。そして、それが人間教育を掲げた稲置学園初代理事長・稲置繁男先生の教育理念であり、本学園の良き伝統だと考えています。

これまで、学園から多くの卒業生が巣立っていきました。その中には、野球の松井秀喜君、サッカーの本田圭佑君をはじめ、プロスポーツの世界で活躍している方々もたくさんいます。彼らは競技者として一流であることはもちろんですが、その高みに到達できる人間的な土壌を持っていたともいえるでしょう。松井君は現在でも毎年母校を訪ね

て後輩たちに良い刺激をくれますし、在学中に私が紹介したバット職人の方に毎シーズンの最後に使用したバットにお礼を添えて届けることもしています。彼の人間性を物語るこんなエピソードもあります。高校時代に野球部で補欠のピッチャーだった後輩の結婚式に彼がアメリカから送った電報に「こう書かれていました。」「星稜高校野球部で君がバッティングピッチャーをやってくれたから僕は今もホームランを打てる」。それを受け取った後輩が涙を流して喜んでいた姿がとても印象に残っています。

本田君には直接の指導はしていませんでしたが、高校時代にはいろいろな相談を持ちか



スポーツの世界で活躍する稲置学園卒業生より



多幡雄一さん

Honda 硬式野球部所属

2009年度の主なチーム成績
「第80回都市対抗野球大会」優勝
「第36回社会人野球日本選手権大会」準優勝

「星稜高校で受けた教育は私の財産です。」

星稜高校で山下監督に指導を受けたことが、人間としての大きな成長につながったと感じています。野球部は“人間形成”をテーマにしていることもあり、技術だけでなく目上の方への礼儀から生活面の注意など、人としての“基本”と呼べるすべてを教えていただきました。練習は厳しかったですが当時からハイレベルな指導を受けたことで、大学・社会人と野球を続けてもすぐに対応できました。星稜の教育は私の財産です。

プロスポーツ選手となった卒業生が母校を訪問



本田圭佑さん

オランダ1部リーグVVVフェンロー所属
(2009.5.21には日本代表選出)



込山和樹さん

北信越フットボールリーグ1部
ツエーゲン金沢所属

母校を訪問し、後輩たちの成長にエール

2009年6月19日には、オフを利用し帰国した本田圭佑選手と同期の込山和樹選手が母校星稜高校を訪ね、熱心に後輩たちの指導を行ってくださいました。高校生への実技指導では真剣なプレーで肌を合わせ、続いて中学生にはセットプレーにおける一人ひとりの役割やボールに触れていない選手のポジショニングの重要性を指導いただきました。最後のミーティングでは、夢を持ち自分を信じてあきらめないことの大切さなどサッカーにはとまらないメッセージを伝え、後輩の成長にエールを送りました。



村松有人さん

ソフトバンクホークス

湯上谷竈志さん

ソフトバンクホークス
内野守備走塁コーチ補佐

野球を通じた社会貢献を恩師に約束

2009年6月16日には、交流戦直前にもかかわらず湯上谷竈志コーチと村松有人選手の両名が星稜高校を訪れ、理事長を始め、恩師の山下監督と思い出話に花を咲かせました。湯上谷コーチからは、自身がこれまで経験したノウハウを「コーチ学」と称してアカデミーを開催し次世代に野球の魅力を伝えることなど、野球を盛り立て社会に貢献していく意気込みが伝えられました。

山下 智茂

稲置学園野球部総監督



けてくれ、進む道が定まった際にも報告に來てくれました。彼らは在学中から一流のプレイヤーであり、すべては自分の能力だと驕ることでもできたでしょうが、それをしない真摯な姿勢、誠実な人間性を持っていました。彼らの人間的成長にとって重要な時期を稲置学園の教育のもとで過ごしたことは、小さからぬ意味があったのではないかと思います。

もちろん稲置学園のスポーツ教育は、スーパースターの輩出のみを誇るものではありません。私が関わってきた野球に関しては、現在、石川県内の少年野球チームの監督・コーチのうち35人ほどが星稜野球部の出身です。こどもの教育の重要性が叫ばれて久しい昨今に、稲置学園の人間教育を受け継ぐ者たちが広く地域ごとにと子どもたちの指導にあたっていることに、地域社会の将来にとっての大きな意義と期待を感じています。

実社会のさまざまな分野で活躍している何万という稲置学園卒業生についても、私は感謝と期待の気持ちでいっぱいです。彼らがここで学び得たことに、社会での成長や自ら

の個性を加えて活躍してくれることで、現在の稲置学園の繁栄があることは間違いありません。私はこれほど素晴らしい学園は他にないと思っています。その理由は卒業生と学園教職員一人ひとりの団結力があるからです。支えていただいている皆さんに感謝するとともに、その団結の核にある初代理事長の愛のある教育にも感謝したいと思います。

学園の教職員にも若い方々が増えてきて、各学校が今までも増して活気があふれるようになりました。だからこそ私には、初代理事長をよく知る人間として、その教えを次代に伝えていく役割と責任があると考えています。「誠実にして社会に役立つ人間の育成」の建学の精神のもとで、スポーツを通じて、あるいは勉強やさまざまな活動を通じて学園で徳・知・体を成長させていく学生・生徒・園児たちが、これからどんな未来を作り上げていくのか。その未来に大きな期待と責任を感じながら、たくさん学生・生徒・園児たちとともに、人としての成長の道を歩んでいきたいと考えています。

サッカー部

一貫教育という学園の特長を、生徒・学生のために最大化すること。
そこに稲置学園の人間教育、スポーツ教育の未来がある。稲置学園の素晴らしい練習環境に
ふさわしい人間性を備えてほしい。競技指導を通じた人間教育について、
それぞれのお考えを聞かせてください。

河崎監督（以下河崎）…私は、まず目指すべきは生徒たちの自立だと考えています。何ごともこちらからの一方的な強制ではなく、部員たちが自発的に考え行動するように導かなくてはなりません。私たちの役割は、こともたちが自立のできる環境を与えることだと考えています。

岩下監督（以下岩下）…子どもたちの自立は部活動だけではなく、学校生活や彼らの将

来にまで影響する非常に重要な点ですね。中学生を指導する中で私がまず考えるのは、どうやって生徒と保護者の方々と親離れ・子離れへと導くかです。小学校時代とは違う親子の関係を中学の早い段階でつくることは、その後の生徒の肉體的な成長に大きな影響を及ぼすと思います。

小松崎監督（以下小松崎）…私はよく学生に「君からサッカーを取ったら何が残るか」と問いかけます。当然ですが、最終的には評価されるのは人間性。特に就職を控えた大学生を指導する中ではそれをあらためて感じます。社

会に出ても評価される人間性を目指しながら、サッカーも上達するような指導を心掛けています。私が学園に来たのは5年前ですが、当初から星稜サッカー部の指導の特長は人間性を育てるという観点にあると感じました。

岩下…私自身も高校時代に河崎先生の指導を受け、特に印象深いのは、たとえばグラウンドを整備する、ラインを丁寧に引く、部室を片づけるなど、人としての基本的な姿勢に関わる指導についての厳しさです。今こうして指導者という立場になり、指導いただいたことの意味を実感していますし、あの頃の教えを自分は引き継いでいるんだなと感じますね。

河崎…岩下先生の指導を見ると、その考えをしっかり受け継いでくれており、嬉しく思います。稲置学園は日本一と言っても過言ではない施設や設備を持っていますが、生徒たちにはこの素晴らしい環境にふさわしい人間、それを当然と思わずにこの環境を率先して保つような人間であって

ほしいと期待しています。

小松崎…以前、総合運動場のゴールポストが微妙にゆがんでいたことがあり、それに河崎先生だけが気づかれましたよね。その時は、練習環境を整えることや周囲に気を配る姿勢について学ばされた思いがしました。その姿勢は岩下先生にも共通しているものだと思います。そこに星稜サッカーらしさがあると思いますし、私自身ももっと人間性を成長させなければと教えられた出来事もありました。



岩下 稔
星稜中学校
サッカー部監督



重要なのは「学園全体としての視点」。
一貫教育の特長を活かしていきたい。



岩下…何ごとにも熱中できないことが増える中で、星稜中学校は部活動の充実がそのまま学校の活力になっていると言えます。星稜中の部活動入部率は文化部を含めて90%を越えており、生徒たちはそれぞれの目的に

学園のスポーツ教育のあり方について
どうお考えですか？

向かって生懸命取り組んでいます。そういった部活動に積極的な雰囲気や、競技を越えて互いに刺激し合い切磋琢磨していく校風が生徒たちの人間的な成長にも良い影響を及ぼしています。その点から見ても、学園全体としてスポーツの充実を図る昨今の取り組みは、素晴らしいことですね。

河崎…学園全体ということには大きな意味があります。スポーツにとどまらず、学園の教育の今後を考えると中学・高校・大学という組織を持ち、一貫教育が可能なこの環境をさらに突き詰めていくことが求められるの

優勝の瞬間は一瞬。そこへ向かっていく過程を充実させることに価値がある。



小松崎 保
金沢星稜大学
サッカー部監督

河崎 護
星稜高等学校
サッカー部監督

ではないでしょうか。稲置学園が誇る一貫教育のシステムを生徒や学生のために最大限に活かしていきたい。そのために今後は、今まで以上に各学校や競技の枠組みを越えた学園全体としての連携が必要になってくると考えています。

小松崎…中学は中学、高校は高校、大学は大学と、自分の学校さえよければいいという考え方は稲置学園らしきではなくなってしまうのではないかと思います。たとえば高校サッカー部は結果も出していますし、部員の人数も多い。本当なら限られた時間の中で少しでも多く練習したいところでしょう。しかし河崎先生は、私たち大学のサッカー部にも快くグラウンドを借わせてくれます。河崎先生は当然のようにそれをされていますが、これは当たり前のことではないと思うんです。

河崎…学園のサッカー部全体を中学・高校・大学の流れとして見れば、大学は今よりもっと強く、魅力的なクラブになっていく必要があります。そのためには環境を整えてあげることにも必要でしょう。

小松崎…大学の部員たちには、学園全体としてサッカー部が強くなるためにこの環境が与えられている、感謝してがんばろうと伝えています。私たち指導者や教職員が、学園全体がどうあるべきかを考える視点を持つ限り、学園教育は正しい方向に進むのではないかと



小松崎…大学サッカー部の目標は、まだ果たしていない全国大会へ行くことです。さらに、星稜で中高とサッカーをしてきたレベルの高い選手にも選ばれるチームになりたいですね。そうすることで稲置学園や河崎先生、岩下先生に恩返ししたいとも考えています。

河崎…高校サッカー部としての目標は全国での活躍ですが、優勝は一瞬。ひとりの指導者としては、そこに向かうための長い時間を充実させることがもっとも大切な目標です。

指導者、教育者として
今後の目標を教えてください。

岩下…チームの目標はやはり日本一です。そして、中学のサッカー部員はいずれ星稜高校で活躍したいという夢を持っていますから、それができる限り叶えてあげたい。先を見据えて全力で指導してあげたいと思っています。

岩下…中学サッカー部ではもちろん高校サッカー部への進学を前提に指導していますが、サッカーに限らず勉強や人間教育の面でも学園の一貫教育には大きな可能性があると思います。

野球部

人間教育は、星稜野球が守り続けてきた良き伝統。
その伝統に恥じない人間を育て、世に送り出してゆく。

礼儀、挨拶、行動力、感謝する心。

人としての基盤を野球から学んでほしい。

各学校、それぞれの年代での人間教育の観点を教えてください。

北川監督（以下北川）…私が星稜高校野球部の指導を山下智茂監督から引き継いで、何よりも心掛けてきたことは星稜野球部の伝統をしっかりと守り続けることでした。その伝統とは何かと言えはやはり人間教育ということになるだろうと思います。挨拶や礼儀、組織の中で自分の役割を見つけ行動する力など、社会に出てからも通用する、人間的な成長を重視した指導ですね。星稜野球部の長い歴史には優れた卒業生がたくさんいますから、その伝統に恥じない指導をしようと常に思っています。

森監督（以下森）…野球に限らず運動部出身の学生が実社会から高く評価されるのは、いま北川監督が言われたような社会人として基礎的な能力をすでに身につけていると期待されるからでしょう。特に野球部の組織は先輩後輩の縦のつながりや同輩同士の横のつながりなど、実社会の組織と共通している部分が多いと思います。大学4年間は社会へと巣立つ直前

の期間ですから、社会の期待に応えられる人間を育てることをいつも念頭に置いています。

田中監督（以下田中）…中学は義務教育の最後の時期であり、ここでしっかりと基盤づくりをしなければ高校・大学、また社会での成長へとつながっていきません。ですからまず、挨拶や礼儀、親から道具に至るまで感謝する気持ちなど、人として当たり前のことができるように指導しています。見えない部分を本物にしなければ見える部分も本物にはならないと生徒たちによく言うんですが、技術以上に心

を鍛える指導を行っています。

北川…高校野球部に入部してくる新入生たちを見ていると、星稜中学出身者その他の生徒では違いを感じますよ。技術が優れた者は他校出身者にもいますが、星稜中から来た生徒は人間としての基本姿勢がすでにできていると言いますか。高校ではそこをさらに延ばしてあげなければいけないと思いますね。

レギュラーも控えの選手も一丸になつて
切磋琢磨できるのが真の「いいチーム」。

野球を通じて育まれる人間性には、特にどんなことがあるとお考えですか？

森…我慢強さという面はあるでしょう。大学野球部には60人近い部員がいますが、どうしてもレギュラーの数は限られます。控えの選手はレギュラーを目指し、見えるところでも見えないところでも我慢をしながら努力を続けなければいけません。もちろん努力は報われることもあれば、そうでないこともあります。その厳しさは社会のどこへ出て同じですよ。



田中 辰治
星稜中学校
野球部監督





北川…みんなレギュラーを目指すけれども、なれない人間もいる。しかし補欠であつてもその中で自分の役割を見つけ行動できる人間は強いですね。下積みの経験を持つている人は、やはりいい働きができるんです。

森…長い間野球に関わつてきて、本当にすばらしいチームだと感じるのは控えの選手たちがいきいきとしているチームです。レギュラーだけでも勝つことはできるかもしれませんが、控えの選手が一緒に喜び、悔しがるチームは真の意味で強いチームです。そういうチームを作っていくのが指導者である我々の仕事でしょう。

田中…まったくその通りですね。

野球部指導者として、喜びを感じるときはどんなときですか。

田中…やはり生徒たちの成長と笑顔が見られたときでしょう。中学生は心身の成長期ですから指導や経験に敏感に反応しますし、一試合ごとに成長していくのを感じます。またその嬉しさは、卒業して星稜高校野球部へ進んだ生徒たちの成長を見るときも同じですね。私はユラオームを着ている時は妥協せずに厳しく生徒たちに接しますが、在学中は鬼でも、卒業したら兄になるよと伝えて高校へ送り出しています。野球の指導は北川監督に任せました以上私は一切しませんが、メンタル面の支えになれたらと思っています。



生徒たちが成長した瞬間の笑顔に指導者としての喜びを感じます。

北川…部員たちもいろいろと悩むこともあるでしょうから、田中監督のような心の拠りどころになる存在を身近に持てるのはとても

いいことだと思います。私も、指導者としての喜びが生徒の成長だというのはまったく同意見ですね。練習や試合の中で、部員たちの表情が変わる瞬間があるんです。そんな成長の瞬間を見ることのできた時は本当に嬉しいものです。

森…1年生が入部してくると、誰ひとり辞めることなく最後まで続けて

人間性も野球も大きく育てること。

それこそが星稜野球の伝統を貫く理念です。



北川 良
星稜高等学校
野球部監督

森 博昭
金沢星稜大学
硬式野球部監督

ほしいと毎年思います。そして、4年間最後までがんばる姿を見せてくれた部員を送り出す時には大きな喜びを感じますね。誰にとっても何かを継続するというのは大変難しいことです。目的意識を持って継続する力を持った人間は、きっと社会に出て成長を続けてくれると思います。

各野球部の今後の目標を教えてください。

森…大学野球部は昨年初めて全国大会に出ることができましたが、今年は残念ながら春・秋ともに出場はなりませんでした。来年春こそ2回目の全国大会出場を目指し、今がんばっているところです。しかし、学生としての本分を果たしながらというのが大前提になるのは当然です。まずしっかりと学生であつてほしいと思います。その上での目標が優勝ですね。

北川…私はやはり星稜高校野球部の良き伝統、強さだけではないレベルの高い野球を守っていくことです。礼儀や道徳という人間性や、勉強を決しておろそかにしない姿勢なども含めた「徳・知・体」の総合的なレベルが高い野球部の伝統を、この先も存続させていくことが目標です。

田中…私の目標は昔から変わらず「人間性も野球も日本一」です。私自身も星稜野球部でそれを目指すよう教えられてきましたし、今も生徒たちにそう伝えています。この理念は、星稜野球の長い歴史を貫く軸と言えるものだと思います。

陸上部

中学生から高校生、大学生、オリンピック経験者までが
ひとつの陸上競技場に集う稲置学園の練習環境を活かす。

将来的な成長も一流になるための専門性も
陸上を楽しむことからスタートします。

中・高・大、それぞれの段階での
指導と人間教育についての
考え方を教えてください。

親谷先生(以下親谷)…高校では、生徒たちの「のびしろ」を考える指導を心掛けています。高校生には大学や実業団、あるいは実社会という次のステージが必ずありますから、先に行つてからも成長できるのびしろを作つてあげなければなりません。具体的には、専門種目だけではなく幅広い種目を経験させる。個人の記録を追いつつもチームとしての意識を持つよう指導する。また成長期でするので怪我や無理な調整をさせないなど、生徒

自身の将来の可能性を拡げる指導に努めています。

長谷川先生(以下長谷川)…親谷先生の言われる「のびしろ」の考え方にはとても共感します。中学の部活動には、挨拶や礼儀、チームワークなど人としての基本的な素養を磨くことも期待されています。それらについてきちんと指導することはもちろんですが、競技については次に進んでも陸上を続けてもらうことが重要だと思っています。陸上を楽しみと思うてもらいたいですし、そのためには練習が厳しいだけではだめだろうと思います。

大森先生(以下大森)…大学では競技レベルが高くなりますから、私が部員たちに望むのは、競技・種目を突き詰めていく力です。私は現役時代やナショナルチームのコーチ経験を通じて数多くの一流選手を見てきましたが、世界のレベルで戦うにはその競技に没頭することが必須となります。そしてひとつの競技を突き詰めていくことは、競技を好きでなければできません。長谷川先生が言われたように、本人が楽しいと思わなければ伸びません。

よね。これは陸上、スポーツに限ったことではありません。

親谷…部活動も勉強も、「やりなさい」ではだめですね。自分が上達や成長をするためにはどうするべきか、何が足りないのか、誰にアドバイスを受けたらいいのか、それらを主体的に考えて行動する姿勢を身につけるよう指導するのが本来の教育なのではないかと思っています。

大森…コーチングの行き着くところは選手自身の自立ですからね。高い意欲を持ち、自分で課題を見つけて解決できる。一流といわれるアスリートはみんなそうですよ。そして彼らの多くは中学・高校でいい指導者に会って、そ

の時代にいろいろな経験をさせてもらっています。私自身も振り返ると、高校で星稜に来て親谷先生の指導を受けてから、陸上を楽しみと感じて練習もたくさんできました。



親谷 均二
星稜高等学校
陸上部顧問





長谷川：私は中学時代に別の学校で陸上をしていて、そこではとても厳しい指導を受けてきました。今思えばその厳しさが自分を成長させてくれた面もあるんですが、その一緒に陸上をしてきた部員たちはほとんどが高校では

陸上をやめてしまったんです。今は顧問として、厳しさも必要だけれども、陸上をもっと好きになつてずっと続けてほしいという気持ちが大きいです。その点で、稲置学園の陸上部はとてもいい環境ができていると思います。

指導経験・競技経験豊かな指導者が、各年代を見渡せるのが学園陸上部の特徴です。

稲置学園の陸上部の特徴とメリットは
 どのような点だとお考えでしょうか。

長谷川：学園の陸上部は中学から高校、大学とひとつの競技場で練習していて、指導経験や競技経験が豊かな先生方がたくさんいらっしゃいます。中学生にとっては、高い目標と優れたアドバイスがいつも目の前にある環境です。これはとても良い影響をもたらしていますね。

親谷：運動というのは、見ることで成長する面も大きいですが、やはり大学生は競技のレベルが高いので、中学・高校の部員たちは同じ練習環境でいつも優れた手本を見ています。また競技場には全国で活躍した先輩たちの名前を記したパネルが掲げられており、高い目標とそれを達成した先輩方の実績を毎日間近で見ているので、いい刺激になっていると思います。

大森：中高大それぞれの年代にふさわしい指導があり、稲置学園はそれらを高いレベルで一貫して行うことができます。これは他の学校にはない優れた部分ですね。

親谷：大森先生と同じくオリンピックに出場した杉林孝法先生（スポーツ学科講師）は、星稜高校入学当初は県でもトップといえる選手ではありませんでした。しかし当時すでに教

員として学園に戻ってきた大森先生に「全日本選手になれるかもしれない」と言われたことが励みになったと本人が言っています。今の部員たちも、陸上オリンピック選手が近くに二人もいて、その指導を受けられることは大きな励みでしょう。

長谷川：部員たちが共有しながら書いている陸上ノートにもよい効果が見られます。以前に活躍した先輩たちがどんな練習をしていたか、それを部員自身が調べ、練習に組み込んでいます。また尊敬する先輩たちと同じユニフォーム、同じ「星稜」の名前を背負っていることが、中学の部員たちの自覚を促していると感じています。

学園スポーツ教育の今後について、お考えを聞かせてください。

親谷：金沢星稜大学にスポーツ学科ができて、いよいよこれからだと私は思っています。長い教員生活の中で、スポーツに力を入れている他の学校と比較し遅れを感じたこともありましたが、スポーツ学科の設置とともに将来の明るい兆しが見えてきました。日本の教育は難しい局面を迎えています。学園の人間教育、また大森先生や長谷川先生をはじめとした若



なぜ星稜から一流選手が生まれるのか。その理由を体系化し、世界に発信していきたい。

い指導者の皆さんに、とても期待しています。

長谷川：大学でスポーツ関連の公開講座が開かれることも増え、自発的に「これを聞きたい」と希望してくる部員たちも多く

なってきました。競技だけではなくスポーツを学ぶという観点からも、質の高い環境が与えられるようになったと思います。それを含めて、学園ならではの指導や教育をさらに充実させていきたいと思っています。

大森：私は現役時代には競技者として世界一になりたいという強い思いで前に進んできました。では今それに代わる指導者としての目標はというと、「星稜メソッド」を確立させることなんです。松井秀喜君や本田圭佑君、杉林先生といった世界一流の選手は偶然生まれたわけではなく、星稜だからこそ育てられた背景があるはずです。それを理論として体系化し、世界に発信したい。そして学園出身の世界的な選手がこれからどんどん育っていけばいいと思います。



大森 重宜
 金沢星稜大学
 人間科学部
 スポーツ学科教授
 陸上競技部部長

長谷川裕子
 星稜中学校
 陸上部顧問

バレーボール部

バレーボールは自分だけでは絶対に勝てないスポーツ。
目標達成のために仲間で支えあう大切さを学んでほしい。

仲間をカバーし合うのがバレーボール。
相手を思いやることの大切さを学んでほしい。

人間教育という面から見た、
バレーボールという競技の特徴は
どんなところでしょうか？

渡邊 匡
星稜高等学校
男子バレーボール部監督

櫻井監督(以下櫻井)・・・バレーボールは特殊な競技だと私は思っています。まず、ボールの保持ができない点。他の多くのスポーツはルール上可能な、ちよつと迷つてボールを止めて考えるということがバレーボールではできません。瞬間的な判断でプレーをつなげていく必要があります。さらに、テニスや卓球なども含むネット型競技の中で、バレーボールだけが自陣のコートで複数回ボールに触れることを許されています。このふたつがバレーボールの大きな特徴であり、同時にむずかしさです。

村上監督(以下村上)・・・チームでカバーし合うスポーツなんです。自分の前にプレーをした人、後にプレーする人のことを瞬間的に考え、判断しなくてはけません。周囲への思いやりや気配り、目配りが欠かせない競技なので、教育的な側面もそこに特徴が表れてくるでしょうね。



渡邊監督(以下渡邊)・・・ボールを3回で返さなければならぬ、しかもそれは自分だけでは絶対にできない。自分のことだけを考えていては成り立たないのが大前提ですから、人と関わりながら目標を達成することを学べるいい競技だと思います。

櫻井・・・バレーボールでは、2本目のプレーのことを「整えるプレー」と表現するんです。1本目のプレーにミスがあつても、2本目でそれをカバーできれば良い3本目につながりますよね。ひとりのスーパースターがいても勝てない競技であると同時に、経験の少ない人も排除しない競技なんです。チームでカバーし合うことで誰もが活躍することができます。

村上・・・どんな競技でもチームワークは大切ですが、特にバレーボールは人のための行動がそ

のまま自分のためになる競技です。加えて、プレーを相手に邪魔されない競技だということもポイントですね。

渡邊・・・ネットを挟んでそれぞれのチームが自分たちのベストを尽くすしか勝つ方法がありませんからね。

村上・・・ある程度のレベルまでいくと、ミスをした方が負けるという段階に入ります。しかしバレーボールでは、誰かのミスは次の選手がミスにしなければいんです。そういう仲間をカバーするプレーは数字には表れませんが、それこそが大事で結果を大きく左右します。

櫻井・・・邪魔をする相手がいないことで、チームとしてがんばつた分の成果がより明確に表れる競技だと言えます。目標に向かってみんなががんばればそれだけ結果として出てきやすいので、部員たちも連帯や努力の大切さを実感しやすいのではないのでしょうか。

大学・高校、それぞれの指導の中で、特に心掛けていることはありますか？

村上・・・高校時代は、競技者としても人間としても、基盤づくりの最後となる時期です。体力的・精神的な成長、つまりは人間的な成長にとっても重要な期間です。日々の指導



櫻井 貴志

金沢星稜大学・星稜女子短期大学
バレーボール部監督

村上 宜重

星稜高等学校
女子バレーボール部監督

ではさまざまなことを伝えますが、特に言い続けているのは、高校生の最高レベルは「自律できる人」だということです。自分を律して、やるべきことを考え実行する。それを常に心掛けてほしいと伝えています。

渡邊…当然、バレーボールがうまければよいという考えで部活動をしているわけではありません。自分がどうあるべきか、どう行動するべきかを考える姿勢を身につける機会を、バレーボールを通して得てくれたらと思っていますし、それを促す活動を実践していきたいですね。

櫻井…大学では、競技の面においては学生がこれまで受けてきた指導や努力によって身につけてきたものを尊重しようと考えています。その上で、これからどこを目指すのか、何を求めていくのかを建設的に指導しています。また、学生として学んでいることがスポーツにどう活かせるのかと問いかけることも努めて行っています。経済学部なら経済的な側面から、こども学科なら中高生との合同練習時などに接し方を、スポーツ学科なら専門家

チームとして、ライバルとして目指される部に。
他の星稜運動部を手本に、次はバレーボール部が続きたい。

としての考え方を、それぞれバレーボールに関連させて考えさせるようにしています。勉強と部活動を別個のものとして両立させるのではなく、互いにリンクさせることで、勉強が実践で役立つ体験を与え、学習効果をより高めることを目指しています。

大学・短大、
高校男子・女子バレーボール部、
それぞれの今後の目標を
教えてください。

村上…星稜高校女子バレーボール部は、目標は日本一・目的は人間形成です。競技者として上を目指すことはもちろんですが、将来社会に貢献できる人間を育てることがより大

高校生の最高レベルは「自律できる人間」。
大学では学びとバレーボールの相乗効果を図る。

な目的です。指導者としてはその考えを毎日の指導に反映させていきたいですね。

渡邊…男子バレーボール部は女子と並ぶ大きな目標はまだまだ掲げられませんが(笑)、目的はやはり同じですね。苦しい練習を経て彼ら自身が何かをつかんだ時の笑顔を見るのが指導者としてこの上なく嬉しいものです。彼らがもっともっと成長を実感



できて、バレーボールを好きになってくれるような環境と機会をつくってあげたいですね。

村上…魅力のあるチームにしたいですね。高校大学、男子女子関係なく、他校や他の地域から星稜バレーボール部はいいね、がんばってるねと思われるチームにしたいです。

櫻井…金沢星稜大学・星稜女子短期大学のバレーボール部は、そういった高校での素晴らしい指導を引き継いで、これから「星稜でバレーボールがしたい」と思ってもらえる部にしていきたいと思っています。星稜はバレーボールも強いんだと部員たちが県外でも胸を張れるように、その手助けをしていきたいです。星稜バレーボール部に入りたい、あるいは星稜バレーボール部に勝ちたいということでもいいんですが、「目指されるチーム」になりたいと思っています。その点では稲置学園には野球・サッカー・陸上と私たちがお手本とするべき部がたくさんありますので、次はバレーボール部が続いていきたいですね。



星稜女子短期大学 辻 建一 准教授

「生きた英語」に触れる機会から英語以上のものを学んでほしい。

星稜女子短期大学で、主に英語教科を担当しています。経営実務科の単科短期大学である本学は、実社会で活かされる実務的な知識やスキルの修得、また資格・検定の取得を目指したカリキュラムが特長です。私が教えている英語教科も、実用英語能力を求める社会の要請に応え、それ以前の講読・文法中心の講義から実践的な英会話へと移り変わってきています。

私のゼミでは学生たちに生きた英語に触れる機会を作るため、金沢大学に留学しているアメリカ人の学生にボランティアで参加してもらっています。講義の始めは私が両者の間を取り持つかたちで進めていきますが、しばらくすると自発的に会話をするようになっています。時には講義時間が終わっても会話が続けていることもありますね。慣れない言語を使つて外国人と意思の疎通を図る苦労も、同年代の留学生との交流という形で体験すること、楽しい営みに変わります。そういった体験を通して、英会話能力に限らずコミュニケーション能力や積極

性、協調性など、実社会から求められるたくさんあることを学生たちが養ってくれればと願っています。

履歴書には表れない人間性を磨くことも私たちの責任です。

極性、協調性など、実社会から求められるたくさんあることを学生たちが養ってくれればと願っています。



「留学生をゼミに招待して学生たちと触れ合う機会を作っています」

実社会に出るまでの短い期間。だからこそ教養も大切なんです。

星稜女子短期大学で毎年実施されている海外研修も私が担当をしています。そこで重視しているのも、人との交流を通して人間的な成長につなげられる体験です。オーストラリア人ガイドの方々と英語で話したり、現地で活躍する日本人の方による研修を受けたりと、異文化の中でさまざまな学習体験ができるように旅程を設定しています。

帰国後の学生たちに感想を求める、と、海外の文化に触れて視野が広がったとか、もつと英会話ができるようになったという声が多く聞かれます。

海外研修をきっかけとしてこのような前向きな気持ちを持てることは、それからの勉強や生活、また就職後にも彼女たちに好影響を及ぼすでしょう。社会に出るまでの限られた時間の中に、将来の可能性を広げる貴重な機会を作つてあげることも、私たちの役割だと思っています。

2年後に地元企業への就職を目指して本学に進学した学生たちにとって、英語を学ぶことの重要度は他の実務的な科目に比べて高くはないかもしれませんが、しかし英語を含めた多様な教養科目は、学生の成長にとって欠くことのできない大切なものだとは私は考えています。実務能力や資格だけではなく、履歴書には表れることのない人間性もしっかりと育てていくこと。それが私たち星稜女子短期大学に課せられた使命だと思っています。



オーストラリアへの海外研修。現地で活躍する日本人を講師に研修



第8回流星祭



第8回流星祭が、10月23日(金)から25日(日)まで開催されました。今回のテーマは「∞～無限大～」の学生の無限の可能性を広く発信していこうという思いが込められています。24日には、お笑い芸人の鳥居みゆき・三拍子を招いたお笑いライブが、25日には、FUNKY MONKEY BABYSのスペシャルライブが開催された他、学生ライブ、早食いコンテスト、コスプレコンテストなどのステージ企画や星稜大学検定、恒例の学生による屋台など、盛り沢山の企画で多くの方が楽しんでいました。



学園祭・文化祭・運動会

学園各校で秋のイベントが実施されました!



第31回 星短祭

10月24日(土)、25日(日)にわたり「一歩」をテーマに第31回星短祭を開催しました。1日目はお笑い芸人のロザンの2人をお迎えし、トークとクイズ大会を楽しみました。2日目はアマチュアバンドライブ、空手部演武、プライダルファッションショー、大抽選会を行い、フィナーレには、2日間を締めくくる花火が打ち上げられました。他にも茶道部によるお茶会、実行委員による喫茶、クラス・ゼミナール・保護者会・事務局による模擬店、学生生活を紹介する写真スライドショーなどもあり、中でも保護者会による野菜即売(JA能登わかば協賛)には、販売開始時間に新鮮な野菜を買い求める方がたくさんつめかけました。また、模擬店は、看板ディスプレイ、接客等を審査するコンテストの優勝を目指して販売していました。

1日目: 10月24日(土)

①ダンス ②放送作家トークショー ③クラス対抗企画「平成の乱」④ロザンとクイズ大会

2日目: 10月25日(日)

①アマチュアバンドライブ・ハモネブ ②空手道部演武 ③プライダルファッションショー④ドキドキ大抽選会 ⑤打ち上げ花火



第48回 星稜祭



9月3日(木)、4日(金)の両日、星稜祭が行われました。初日は、稲置記念館で午前(2・3年)、午後(1年)に分かれ、開会式、合唱部発表、TRIPLANEのライブが催されました。午前の部では、3年Pコースによる演劇があり、会場は大いに盛り上がりしました。2日目は、クラステナント、同窓会テナント、吹奏楽部コンサート、ダンス・ダンス・ダンス、ロックコンサート、S-1グランプリ、カラオケ大会、ビンゴ大会、文化部の作品展示、茶道部のお茶会などがありました。



運動会

10月1日(木)、秋晴れに恵まれ、クラス対抗で、競技が進められました。玉入れ、騎馬戦、5人6脚などの各競技で元気にグラウンドを飛び回っていました。





★ 第2回 オープンピアツアを 実施しました。

こども学科の学生が、大学で日々学んでいることを基本に、地域のごどもたち・保護者の方々と交流を図るオープンピアツア、本年度第2回企画を流星祭期間中に実施いたしました。今回は「おぼけ主催?ハロウィンようこそ☆」と題し、ピアツア工房を起点に迷路やお化け屋敷・劇などを行いました。スタンプラリー企画では、キャンパス内に出没するジャックランタン(カボチャのお化け)を追いかけて、参加したごどもたちが走り回っていました。また、お化け屋敷が怖かったらしく泣き出すごどもたちも続出。200名近いごどもたちが楽しんでくれました。

また、12月20日(日)には、ごどもたちに段ボールハウスを作ってもらう第3回企画が実施される予定です。

講義日	講 師 名	本 務 など
10/15	小 川 正 氏	稲友会会長
10/22	鈴木 雅博氏	東京税理士会・常務理事
10/29	中西 哲生氏	スポーツジャーナリスト
11/5	古賀 克己氏	(株)アルプ・代表取締役会長
11/12	阿部 靖司氏	ダイヤモンド商事(株)・代表取締役
11/19	佐藤 寧彦氏	会宝産業(株)・執行役員、社長室長
11/21	馳 浩 氏	衆議院議員
11/26	加藤 一彰氏	ホテル金沢・営業課長
12/3	伊藤 江梨氏	石川県健康福祉部・主任主事
12/10	荒木 太郎氏	石川県商工労働部・産業政策課長
12/17	櫻井 壽夫氏	石川県金沢東警察署・生活安全課長
1/7	山下 智茂氏	稲置学園・理事
1/21	佐 野 修氏	石川県立自然史資料館
1/28	藤 弥 一司氏	(株)丸藤・代表取締役

★ 後期から 「グローバル経済国民」 を開講



スポーツジャーナリスト
中西哲生氏の講義

後期から「グローバル経済国民」が開講されています。この科目は、各界の第一線で活躍しておられる方々を講師として招き講演いただくことで、現代経済の「今」を分析し「明日」を洞察するための指針を生きたヒントを得ることを目的にしています。

講師は、次の方々です。

★ 人間科学部・3年次 プレゼミ研修を 実施しました。



人間科学部・3年次を対象にしたプレゼミ研修が、9月23日(水・祝)から24日(木)の間、国立能登青少年交流の家(羽咋市柴垣町)で開催されました。この研修は、4年次になって所属する専門ゼミナールを決定することと、就職ガイダンスを目的としています。就職ガイダンスは、教員志望の学生対象のものや外部講師を招いた一般企業向けのものが実施され、ハードスケジュールの中、学生たちは自分の進路について真摯に向かい合っていました。

★ 人間科学部の イベントについて

人間科学部では、スポーツ学科・こども学科の活動を広く知っていただくために、次のイベントを実施しました。

(1) スポーツ学科・日本記録挑戦会 (男子三段跳)

スポーツ学科が企画する金沢星稜大学特別招待試合「日本記録挑戦会」が、8月21日(金)に稲置学園総合運動場で開催されました。男子三段跳で日本有数の鈴木義啓選手、梶川洋平選手、角山貴之選手をお招きしました。一流選手の跳躍に、約200名の参加者から感嘆の声が聞かれました。



(2) こども学科・講演会「どちらになりたい?小学校の先生・幼稚園の先生」

こども学科の講演会が、10月3日(土)に本学101講義室にて開催されました。「どちらになりたい?小学校の先生・幼稚園の先生」というテーマに基づき、聖徳大学・小川博久教授、金沢大学・諸岡康哉教授をお招きし、学習指導要領等の改訂をふまえて、教

員という仕事の素晴らしさについてお話いただきました。その後、本学教員も加わったシンポジウムを行い、約80名の方々にご参加いただきました。



(3) スポーツ学科・いしかわジュニア競技力向上セミナー



スポーツ学科・いしかわジュニア競技力向上セミナーが、10月31日(土)に本学101講義室及び体育館で開催されました。本セミナーは、県内ジュニア選手の発掘・育成に寄与し、ジュニア育成方法等の情報発信及び意見交換を目的に開催しているもので、「スポーツパフォー

マンスにおける「バネ」を解明する」というテーマに基づき、本学教員による講義並びに(株)ミズノ専属トレーナーの岩本広明氏による実技指導を行い、ジュニアスポーツの指導に携わる中学・高校教員や生徒など、約120名の方々にご参加いただきました。

★就職ガイダンス

3年次生を対象に、就職ガイダンスが本格的に実施されています。身だしなみや言葉遣い等のマナー講座をはじめ、女子学生向けメイクアップ講座、就職合宿など、昨今の経済情勢の悪化を受け、支援内容も更に充実しています。また、女子学生を対象とした履歴書写真撮影には、プロカメラマンと美容師をお願いしたほか、学内合同会社説明会では理容師を招き、髪型の不適当な学生はその場で整えるなど、企業側への第一印象の大切さを指導しています。



短 北信越学生剣道選手権大会3位入賞

5月に行われた北信越学生剣道選手権大会において2年次の木原菜摘さんが3位入賞、7月に大阪で開催された第57回全日本学生剣道選手権大会に北信越代表として出場しました。



短 クラブ戦績

- バレーボール部 ※金沢星稜大学との合同チーム参加
第36回 森田杯北陸三県大学バレーボール秋季リーグ 4位(2勝3敗)
- 剣道部 ※金沢星稜大学との合同チーム参加
第51回 北信越学生剣道優勝大会 準優勝
- ソフトテニス部
第16回 森田杯北信越学生ソフトテニス対抗戦大会 優勝
- 陸上競技天皇賜杯
第78回 日本学生陸上競技対校選手権大会 4×100mリレー 予選(1走) 49秒53 予選7位
第53回 北陸陸上競技選手権大会 4×100mリレー 予選(1走) 予選7位

高 課外実習

8月27日(木)から28日(金)にかけて、1・2年Pコースで課外実習を行いました。1年生は白山登山で、山頂を目指し、壮大なパノラマを望むという学校の勉強とは違った生きた体験をすることができました。2年生は岐阜県長良川の大自然の中で、ラフティングやシャワークライミングを体験しました。課外実習を通じて、お互いのことを考え、助け合うことの大切さを学びました。



★ 大学見学会実施

8月始め、希望者を募り東京方面(1年Bコース対象)と関西方面(2年対象)の大学見学会を実施しました。東京方面では、東京大学、早稲田大学、慶應義塾大学、都内の大学(MARCH)を見学しました。また、関西方面では、京都大学、大阪大学、神戸大学を見学しました。

高 薬物乱用防止講演会

9月5日(土)、石川県健康福祉部子育て支援課の沼田直子氏をお招きし、薬物乱用防止講演会(1年生対象)を行いました。薬物の中では、身近にあるもので番危険なものはタバコであるとの説明があり、喫煙による害を実例や写真などを交えながらお話いただきました。

★ 高 ヒストリカルツアー

今回は、「三大地人の旅 上杉謙信・直江兼続ゆかりの地をめぐる」と題して、新潟県上越市に行きました。本校を出発し、旧加賀街道、春日山城跡・春日山神社、林泉寺、浄興寺、御館跡、三大地人博「直江津屋台会館」、五智園分寺、居多神社の順に各地を巡りました。





高小論文講座

9月19日(土)、ベネッセコーポレーション小川久人氏をお招きし、「キミにも書ける小論文書き方講座」(1年生対象)を行いました。

講演の中で、「書いて伝えるのが文書である」というお話があり、文書では話しことを使わないなどの注意事項がありました。

ほとんどの生徒が、「小論文」を書いた経験がないことから、戸惑いながらも、メモを取るなどして、熱心に聞き入っていました。

高 学生科学賞の県代表に

第53回石川県児童・生徒科学作品コンクールの県議会議員賞ならびに日本学生科学賞石川県審査で最優秀賞に、3年樋口陽平さんが選ばれました。

津幡町のため池(485ヶ所)を5年かけて回り、クロサンショウウオをはじめとする止水性生物の生息分布を調べました。この作品については、県代表として中央審査に出品されます。



高クラブ成績

□平成21年度

石川県高等学校新人体育大会

テニス競技

●女子ダブルス

優勝 井波奈津美・干場優花

●女子シングルス

優勝 井波奈津美

●女子団体・優勝

●男子シングルス

優勝 玉川喜洋

陸上競技

●400m女子・第1位 辻夕姫江

中 各クラブで活躍

今年の新人大会は大活躍で、野球部、サッカー部、女子テニス部、陸上部、トランポリン部の活動が目立っています。

□野球部

●金沢市大会、加賀地区大会、石川県大会で優勝

□サッカー部

●金沢市大会、石川県大会で優勝

□女子テニス部

●石川県大会で優勝

□陸上部

●男子

走幅跳 第3位 村田光

●女子

100m 第1位 葛巻綾乃

100m 第2位 田智恵

200m 第1位 葛巻綾乃

800m 第1位 濱田優理

1500m 第3位 濱田優理

3000m 競歩 第2位 和沢夏葵

走幅跳 第1位 田中智恵

4×400mリレー 第2位

□トランポリン部

都道府県対抗大会県予選

13・14歳女子の部

第1位 松多冠奈

中高 トランポリン部 世界大会へ

高校・石井淳さん・伊牟田萌さん、中学・松多冠奈さんは、11月ロシア・サンクトペテルブルクで開催される、世界年齢別トランポリン選手権大会に出場しました。大会の結果は15・16歳男子個人で石井淳さんが5位となりました。



左から松多冠奈さん、伊牟田萌さん、石井淳さん



☆星稜幼稚園が「おまつりひろば」に…
子どもたちの未来のためにテーマは『エコロジー』！
みんなでたのしくエコっちゃおう☆

保護者の皆さんがこどもたちのために企画し、みんなで楽しく準備を進めてきたエコ・キッズワールドが、10月17日(土)に開催されました。
ゴミの分別ゲーム・ダンボールハウ・ストイレットペーパーの芯を使用した光の万華鏡工作・おもちゃのかえっこなどです。
どのコーナーもエコを意識したステキな工夫がなされ、廃材を利用した活動や遊びのヒントがいっぱいでこどもにとっても大人にとっても、とてもよい体験となりました。



☆NEW!
ファイヤーエンジン☆

園庭に新しく遊具『ファイヤーエンジン』が設置されました。
今まで長い間、こどもたちに親しまれていた汽車型コンパン遊具が古くなったので、夏休み中に取り替えられました。
こどもたちに大人気の『ファイヤーエンジン』、さあ、今日も出動!!

☆運動会☆

9月27日(日)、稲置学園総合運動場で行われた『いっしょいっしょ』がテーマの運動会。
お父さん、お母さん、お兄ちゃん、お姉ちゃん、弟や妹、おじいちゃんにおばあちゃん。秋晴れの下、みんなでいっしょに、走ったり跳ったり応援したり、にぎやかな1日でした。



☆キッズサッカー☆

10月に3回、年長、年中児を対象に『キッズサッカー』が行われました！
コーチは、星稜スポーツアカデミー所属の廣田直子さん。しつぽとりでウォーミングアップのあと、芝生の上でボールを追いかけ回りました。年中さんは、時々出そうになる手をひっこめながら(笑)。将来、サッカー選手になる子もいるかもしれませんね♪



☆いもほり遠足☆

「おおきいいもをほろぞー!!」はりきって五郎島へ出かけた年長さん。今年のださつまいもは、大きくて大豊作。なんと、こどもの顔くらいの大きさのものもあったんです！大喜びでお家を持って帰り、焼きいも、天ぷら、スイートポテト…。おいしく変身したそうです。
園でも、プチクッキング『おいもロムカップケーキ』をしたり、おいもスタンプをしたりして楽しみました。



稲置学園創立 80 周年記念事業

金沢星稜大学・星稜女子短期大学新館建設のお知らせ

2012年に学園は創立80周年を迎えます。記念事業として、学生会館及び厚生会館(金沢星稜大学敷地内)を解体し、その跡地等に「キャリアデザイン館」と「メディアライブラリー」を建設することが決定いたしました。また、星稜女子短期大学の大学キャンパスへの移転も行われます。着工は2011年春、完成は2012年夏を予定しています。

建築コンセプト

「星稜」の新たなはじまり

創色新空間 ～個性が創り出されるキャンパス～

「自分を超越する力をつける」ステージへ



施設の特徴

- ・キャリアデザイン館(鉄骨造5階建): 星稜女子短期大学移転に伴う講義室等の整備
- ・メディアライブラリー(鉄骨造3階建): 図書館・情報メディアを集約し、機能を充実。ライブラリーカフェ
- ・キャンパスモール(鉄骨造3階建): メディアカフェ(学生のくつろぎ空間の拡充、学生の交流の促進)

理事長著『星の百年坂 ―星稜創立者の娘に生まれて―』出版

学園の成り立ちや初代理事長の素顔を伝える

稲置繁男初代理事長生誕100年記念の一環として、稲置美弥子理事長が、父である初代理事長の教育や生活、またともに歩んできた中で父への思いや自身のことなどを綴った『星の百年坂 ―星稜創立者の娘に生まれて―』を、10月5日（月）に北國新聞社より出版しました。

また11月14日（土）には、金沢市内のホテルで出版記念パーティーが行われ、学内外から282名の出席がありました。パーティーでは、谷本正憲石川県知事、浅香久美子金沢市教育長からの祝辞が代読され、また初代理事長生誕地奈良県月ヶ瀬の元教育長田中喜隆氏からも祝辞をいただきました。加藤晃石川県私学連合会理事長の乾杯の発声の後、和やかに歓談が行われ、稲置慎也学園理事の挨拶でパーティーが締めくくられました。



稲置学園の各校のキャンパスやグラウンド、各施設が立ち並ぶ御所の地は、ゆるやかな坂の町です。（中略）
これからも
このゆるやかな坂の町を、
どこまでも
確かな歩みで進みたい。
百年を振り返りながら、
新たな百年の夢を追いつける、
星の百年坂。（本書より抜粋）



挨拶する稲置美弥子理事長



元月ヶ瀬村教育長 田中喜隆氏



学園と同窓会とがいつそうの連携を図るために

いまを知り、あしたを語る日。星稜DAY開催！

9月27日（日）、同窓生のみなさんに金沢星稜大学の現況を知っていただくためのイベント「星稜DAY」を開催しました。当日は、大学の教育への取り組みについて紹介するDVDの放映や、星稜ワンカル講座として、キョウデングループ会長で日本元気劇場総合プロデューサーの橋本ひろし氏によるビジネスライブなどが行われました。また、OB・OGとの業種研究会や在学生と同窓生の交流の場も設けられました。当日は受験生に向けたオープンキャンパスや保護者懇談会も開催されました。



星稜ワンカル講座からのお知らせ

お申込み・お問い合わせ 星稜エクステンションセンター TEL.076-253-3867

講座名	講師	日時	定員
プロジェクトマネジメントの基礎知識	間宮和人氏（社団法人 日本経営協会 専任講師）	1月23日（土）13:00～14:30	30名
有価証券報告書で身近な会社をもっと知ろう	山崎泉氏（金沢星稜大学 講師）	2月20日（土）13:00～14:30	30名
あなたはマンション派？一戸建派？	平島利博氏（星稜女子短期大学 非常勤講師）	3月28日（日）13:00～14:30	30名

インフルエンザへの対応について

本学園でもインフルエンザ（新型含む）の集団発生が確認され、星稜高校、星稜中学校、星稜幼稚園及び星稜泉野幼稚園が学級閉鎖の措置を取りました。ついては、今後も流行が続く恐れがありますので、本学園の方針を再度確認し、感染予防措置を徹底してください。

1. 咳エチケットを守り、うがい、手洗いの励行、そして予防接種などの予防措置に努める。
2. 発熱や咳などインフルエンザの症状がある場合は、登校又は出勤を自粛し最寄りの病院など一般医療機関で受診するなど療養に努める。
3. インフルエンザに感染した場合は、登校又は出勤停止とし自宅療養する。（不要不急以外の外出禁止。）回復後の登校又は出勤については、医師の許可を得なければならない。
感染者と濃厚接触した疑いのある場合は、5日間の経過観察を行う。
4. 学内において集団発生が確認された場合は、必要に応じて学校を臨時休業又は学級閉鎖とする。その際、クラブ活動や本学で実施するスポーツ大会、集会及び練習試合等は感染拡大防止のためにも自粛する。

行事スケジュール (12月～3月)

金沢星稜大学

12	1日(火)	入試&CDP説明会(福井地区)
	5日(土)	オープンキャンパス(人間科学部:フィールド演習・実習成果報告会)
	6日(日)	ビジネス能力検定試験
	7日(月)	入試&CDP説明会(小松地区)
	8日(火)	入試&CDP説明会(本学)
	10日(木)	入試&CDP説明会(富山地区)
	11日(金)	入試&CDP説明会(高岡地区)
	20日(日)	第3回オープンピアツア
	24日(木)	補講日
1	14日(木)	月曜代替日
	15日(金)	補講日
	16日(土)・17日(日)	大学入試センター試験
	24日(日)	学部・一般入試A日程
	29日(金)・30日(土)	3年次就職合宿(予定)
2	4日(木)～10日(水)	一斉試験期間
	12日(金)	経済学部:基礎ゼミナールⅡ報告会
	14日(日)～17日(水)	学内合同企業説明会
	19日(金)・20日(土)	サークルリーダー研修
	21日(日)	大学院:1期B日程入試
	24日(水)	後期成績開示
3	1日(月)～3日(水)	追試験・再試験
	10日(水)	卒業認定発表
	15日(月)	学部:一般入試B日程
	19日(金)	学位記授与式
	23日(火)	学前学力試験
	26日(金)	学部:併設校大学入試センター試験利用入試
	28日(日)	保護者懇談会

星稜女子短期大学

12	5日(土)	自己推薦入試B日程
	6日(日)	ビジネス能力検定試験
	10日(木)	自己推薦入試B日程 合格発表
	24日(木)・25日(金)	補講日
	26日(土)～1月4日(月)	冬季休暇
1	5日(火)	補講日
	6日(水)	後期授業再開
	14日(木)	月曜代替講義日
	15日(金)	補講日
2	1日(月)	後期授業終了
	2日(火)・3日(水)	補講日
	4日(木)～10日(水)	後期考查
	6日(土)	スカラー(一般)・一般入試A日程、留学生・長期履修(社会人)入試
	11日(木)	春季休暇開始
	12日(金)	スカラー(一般)・一般入試A・センターA他合格発表
	12日(金)～18日(水)	海外研修
	22日(月)・23日(火)	追・再試験(2年次)
3	1日(月)・2日(火)	追・再試験(1年次)
	2日(火)	一般入学試験B日程
	3日(水)～5日(金)	スキー研修
	5日(金)	一般入学試験B日程合格発表
	8日(月)	卒業認定発表
	15日(月)	第30回卒業証書・学位記授与式
	24日(水)	一般入学試験C日程
	26日(金)	一般入学試験C日程合格発表

星稜高等学校

12	1日(火)～4日(金)	修学旅行(1年)
	11日(金)	公務員説明会(2年)
	15日(火)	全国大会出場激励会
	15日(火)・16日(水)	体育大会(1・2年)
	16日(水)	保護者懇談会(3年)
	17日(木)	保護者懇談会
	18日(金)	保護者懇談会
	19日(土)	終業式
	21日(月)～25日(金)	補充授業・補習
1	8日(金)	始業式
	11日(月・祝)	Pコース推薦入試
	12日(火)	センター直前演習
	14日(木)	センター試験受験者激励会
	16日(土)・17日(日)	センター試験
	23日(土)～2月1日(月)	国立公立大学相談会
2	1日(月)	高3最終登校日(学年集会)
	2日(火)	入学試験
	16日(火)～19日(金)	修学旅行(2年Pコース)
	19日(金)・20日(土)	学年末プレテストA
	26日(金)	卒業式予行
3	1日(月)	卒業式
	8日(月)～12日(金)	学年末試験
	19日(金)	終業式
	20日(土)	入学説明会
	21日(日)	二次入試

星稜中学校

12	1日(火)～3日(木)	期末試験
	4日(金)	体育大会
	15日(火)	講演会
	16日(水)	カルタ大会
	19日(土)	終業式
	21日(月)～24日(木)	補習
1	8日(金)	始業式
	22日(金)	英検
2	6日(土)	漢字検定
	7日(日)	入学試験
	18日(木)	スキー教室
	21日(日)	入学説明会
3	2日(火)～4日(木)	学年末試験
	11日(木)	卒業式予行
	12日(金)	卒業式
	19日(金)	終業式
	23日(火)～26日(金)	補習

星稜幼稚園

12	2日(水)	ABCランド参観
	3日(木)	星稜子育て教室
	9日(水)	星稜子育て教室
	10日(木)	もちつき・保育参加
	17日(木)	星稜子育て教室
	19日(土)	星稜コンサート
	21日(月)	保育参加
	22日(火)	クリスマス会
	24日(木)	終業式
1	8日(金)	始業式
	14日(木)	星稜子育て教室
	15日(金)	21世紀美術館・保育参加
	16日(土)	同窓会
	19日(火)	とらいランド参観
	22日(金)	保育参加
	28日(木)	星稜子育て教室
	30日(土)	個人懇談会(希望)
2	1日(月)	交通安全教室
	3日(水)	豆まき会・保育参加、星稜子育て教室
	4日(木)	表現あそびの会
	5日(金)	表現あそびの会
	6日(土)	入園説明会
	8日(月)	防犯訓練
	15日(月)	とんと劇場
	17日(水)	保育参観(年少)
	18日(木)	保育参観(年中)
	19日(金)	保育参観(年長)
	20日(土)	星稜子育て教室
3	3日(水)	ひな祭り会
	4日(木)	星稜子育て教室
	5日(金)	お別れ会・保育参加
	11日(木)	星稜子育て教室
	24日(水)	終業式

星稜泉野幼稚園

12	3日(木)	表現あそびの会
	4日(金)	表現あそびの会
	5日(土)	星稜コンサート
	17日(木)	もちつき大会
	19日(土)	同窓会
	21日(月)	ハローサンタの会
	24日(木)	終業式
1	8日(金)	始業式
	14日(木)	21世紀美術館見学(予定)
	15日(金)	新年お楽しみ会
	19日(火)	とんと観劇
	20日(水)	年長ABC参観
	21日(木)	にこにこ参観
	22日(金)	とんと観劇
	26日(火)	交通安全教室
	27日(水)	にこにこ参観
2	1日(月)	年長とらいランド参観
	6日(土)	個人懇談会
	16日(火)	入園説明会
	19日(金)	避難訓練
3	2日(火)	ひな祭り会
	5日(金)	お別れ参観
	9日(火)	年長組を送る会
	24日(水)	終業式

あとがき

短大のオープンキャンパスも無事6回終了しました。これから入試シーズン本番となります。また、昨年同様、インフルエンザの流行が懸念され入試の実施に影響が出なければ良いと思います。

今回の特集は「スポーツを通じて目指す人間教育」です。星稜の特色である他・知・体の「体」にスポットを当て、様々な競技の指導者の取り組みを紹介しました。

稲置繁男初代理事長が築き上げた稲置学園約80年間の歴史、建学の精神「誠実にして社会に役立つ人間の育成」が様々な分野に根付いていると改めて実感しています。

短大教学課 橋本 尚



学校法人 稲置学園

金沢星稜大学

石川県金沢市御所町丑10-1
TEL076-253-3924(代表)
<http://www.seiryo-u.ac.jp>

星稜女子短期大学

石川県金沢市御所町西1
TEL076-253-5900(代表)
<http://www.seiryo-u.ac.jp>

星稜高等学校

石川県金沢市小坂町南206
TEL076-252-2237(代表)
<http://www.seiryo-hs.jp>

星稜中学校

石川県金沢市小坂町南206
TEL076-252-5057(代表)
<http://www.seiryo-hs.jp>

星稜幼稚園

石川県金沢市御所町寅27
TEL076-252-5057(代表)
<http://kinder.seiryo.jp/seiryo/>

星稜泉野幼稚園

石川県金沢市泉野町6-17-30
TEL076-244-5636(代表)
<http://kinder.seiryo.jp/izumino/>